

社会への取組み

ステークホルダーとのコミュニケーション

KOBELCOグループは、ステークホルダーの皆様との積極的なコミュニケーションを実施しています。株主様・投資家様をはじめとする皆様との対話活動や、お客様・お取引先様からのアンケートを通じてステークホルダーの皆様の声を受止めるとともに、経営の透明性の向上を重要課題と認識し、適正かつ迅速な情報開示と、幅広い情報公開を進めています。

また、スポーツを通じた社会貢献に取り組むとともに、それぞれの事業所が次世代の育成支援を中心に地域交流・地域振興、環境活動を通じた社会貢献など、地域社会に貢献するさまざまな活動を行っています。

株主様・投資家様とのコミュニケーション

当社は、「統合報告書」の発行や株主総会招集通知の内容の充実と早期開示、説明会の開催など様々なツールや機会を通じて、情報発信と株主・投資家の皆様との対話に取り組んでいます。今後も、ITツールも活用しながら、当社経営方針や事業についてご理解を深めていただけるように努めていきます。

国内外機関投資家

国内外の機関投資家のアナリストの皆様、ESGや議決権行使の担当者の皆様との積極的な対話を通じて当社へのご理解促進に取り組んでいます。2020年度は機関投資家の皆様延べ178名と面談を実施したほか、年4回の決算説明会や、「製鉄工程におけるCO₂低減ソリューション」などのテーマ別説明会も開催しました。

お客様・お取引先様とのコミュニケーション

当社グループでは、さらなる製品・サービス品質などの向上に向けて、製品の品質やサービス及び納期など幅広い項目をお伺いする「お客様アンケート」を実施していま

地域社会の皆様とのコミュニケーション

スポーツを通じた社会貢献

医療従事者支援を目的としたエチケットマスクの販売

2020年9月に、これまでの公式戦などで選手達が実際に着用していた試合用ジャージを活用し、エチケットマスクにリメイクして販売しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止に奮闘する医療従事者を支援するチャリティーとして行ったもので、多くのラグビーファンにご賛同いただきました。

エチケットマスクの販売による収益935,376円を2020年12月24日にこうべ医療者応援ファンドに寄付しました。



個人投資家

個人株主・投資家の皆様当社へのご理解促進のため、年2回、株主様向け冊子「株主の皆様へ」を発行しているほか、Webサイトを通じた情報提供にも取り組んでいます。株主様工場見学会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、現在開催を中断していますが、今後の状況を勘案しながら、再開も含め検討を進めていきます。

【株主・投資家情報】

<https://www.kobelco.co.jp/ir/>



盲導犬協会の活動支援

コベルコステイラーズでは「盲導犬育成及び、地域の盲導犬受け入れの理解」を深める社会福祉法人兵庫盲導犬協会の活動趣旨に賛同し、昨年より試合会場での盲導犬支援募金・チャリティーグッズ販売への協力を行っています。今年もたくさんの来場者にブースへお立ち寄りいただき、本活動へご協力いただきました。



国内外における社会貢献

KCMSA (KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY SOUTHEAST ASIA CO., LTD.)

「地域に根差し共存していくこと」及び「従業員がKOBELCOで働くことの喜びと地域貢献活動から得られる感動を共有すること」を目指し、マングローブの植林活動、小学生への安全教室や安全啓蒙活動、備品・設備の寄付などを実施しています。従業員と家族がKOBELCOの一員であることに喜びと誇りを感じることで、意識変革や組織の活性化などの風土づくりにも貢献しています。



神戸線条工場/神戸発電所

職長会において、「当事業所は地域に支えられている。地域に喜ばれるようなことを自分たちの手でやろう」という声をきっかけに、1978年より近隣の児童福祉施設や高齢者施設にお菓子や家電製品などのクリスマスプレゼントを提供する活動を継続しています。たくさんのお礼の言葉をいただき、「感謝される喜び」「誇り」を感じ、「働きがい」にもつながる、地域社会に根差した活動になっています。

本活動が神戸市の市民表彰(花時計賞)を受賞。金谷東灘区長から赤松職長へ表彰状を授与(2021年3月)



KOBELCO GREEN PROJECT

KOBELCO森の童話大賞

次世代を担う子どもたちに、さまざまな自然の恵みをもたらす森を大切に育んでもらうことを目的に、全国の小中高生から「森」をテーマにしたおはなしを募集しています。金賞作品は絵本作家の挿絵で絵本化し、後援自治体所管の学校や図書館などに寄贈しています。2020年度の第8回は426件の応募をいただき、小学生の部では林美羽さんの「森のかけはし」、中学生の部では増井玲奈さんの「森の命の素晴らしさ」が金賞を受賞しました。

当社グループは、これに加えて、従業員ボランティアに

よる森林整備活動、「児童館出前エコ教室」への参画を行っており、これら環境貢献活動を「KOBELCO GREEN PROJECT」と称し、グループ全体で推進し、環境の側面からも社会との共生・協調を目指しております。

※2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、森林整備活動、児童館出前エコ教室は開催を見送りました。



コベルコ地域社会貢献基金

当社は、創立100周年を迎えた2006年度に「コベルコ地域社会貢献基金」を設立しており、基金を通じて子どもたちを対象としたサポート活動を行っています。

基金による支援の実績や取組みの概要については、当社Webサイトをご覧ください。

https://www.kobelco.co.jp/about_kobelco/csr/fund/



TOPICS

神戸市より感謝状をいただきました

当社の神戸総合技術研究所では、当基金の活動として神戸市西区役所と連携しながら、区内にある子育てサークルへ、知育玩具や絵本などの支援を行いました。この支援が評価され、神戸市社会福祉協議会より感謝状をいただきました。



社会への取組み ステークホルダーとのコミュニケーション

KOBELCOの約束 Next100プロジェクト(社員とのコミュニケーション)

当社グループは、全社員が1つになって「誇り」「自信」「愛着」「希望」溢れる企業集団を作り、持続的に発展していくことを目指した活動として、「KOBELCOの約束 Next100プロジェクト」を2017年度より開始しました。グループ企業理念の浸透及び品質不適切行為の風化防止(教訓の承継)を軸としたこの活動を推進することで、全社員一人ひとりが「認知」「共感」した上で、それぞれの行動で「関与・実践」し、その行動が当たり前の組織文化として定着することをゴールとしています。



新たなグループ企業理念の周知を中心とした活動を展開

2020年度は、5月に制定したグループ企業理念をベースに、経営幹部と社員との対話活動など従来の活動の定着を図りました。また、経営幹部やライン部長の「約束」を社員に共有したうえで、社員一人ひとりにも自身の「約束」を考え、行動してもらうことで、「関与・実践」の促進を図りました。なお、オンラインツールを積極的に活用し、コロナ禍でも活動を推進しています。

活動は新たなフェーズへ

2021~23年度を「2nd Step」と位置づけ、従来の活動の継続、深化を進めます。具体的には、2020年度の社員意識調査で浮かび上がった、「関与・実践」の強化を課題として、「KOBELCOの約束賞」の定着化やグループの多様な事業への理解促進(「グリーン社会への貢献」をはじめとする社会課題解決への寄与など)に重点的に取り組みます。

主な活動内容と今後の実施予定

	施策名	内容	活動実績/予定
関与・実践	経営幹部・ライン部長・社員一人ひとりの約束宣言	企業理念カードなどで社員一人ひとりの「約束」を宣言する取組み。2020年度からは、経営幹部の「約束」を国内外のグループ全体で、ライン部長の「約束」を各職場内で共有する取組みを開始	2021年度も全従業員の「約束」を国内外のグループ全体で共有済み 3/6の「KOBELCOの約束の日」を起点に、ライン部長は自身の「約束」を職場内に共有するとともに、社員一人ひとり企業理念カードなどに自身の「約束」を記入
	「語り合う場」の実施	①グループ企業理念の浸透②品質不適切行為の風化防止③組織内の双方向コミュニケーションを目的に、職場単位で実施	毎年10月に設定している「KOBELCOの約束月間」の中心的取組みとして、当社及びグループ会社の業務に従事する者全てを対象として継続実施
	「KOBELCOの約束賞」の運用	グループ企業理念を実践し、風土づくりに貢献した活動をたたえ合い、グループ全体で理念実践を促進する取組み	2020年度は34件の活動を表彰 グループ全体で好事例を共有し、理念実践の定着化を目指すために継続実施
認知↓共感	経営幹部と社員との対話活動	山口社長をはじめとする経営幹部が社員に対して思いを語り掛け、信頼回復に向けた改革に対する本気度を積極的に示す活動	社長による対話活動はこれまでのべ141回約1,400名の国内外のグループ社員と対話実施(2020年度末時点)。2021年度も対話活動を継続
	「KOBELCO 約束の場」の運用	品質不適切行為の教訓を、世代を超えて風化させないための施設	オンライン版やサテライト施設も含め、これまでのべ約5,200名が訪問(2020年度末時点)。2021年度はオンライン版の更なる活用を実施
課題把握	社員/コンプライアンス意識調査の実施とフィードバック	社員の仕事や会社に対する意識及び組織の状態などについて、包括的に現状・課題を把握する仕組み	2020年度の当社における調査結果は、コロナ禍における経営環境の変化などによる悪化が予想されたが、全体として改善傾向。2021年度も継続実施